

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場会社名 バーチャレクス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6193 URL http://www.vx-holdings.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 栄樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 黒田 勝 TEL 03-3578-5300
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,584	△11.0	△26	—	△14	—	△25	—
2020年3月期第2四半期	2,903	△2.5	△198	—	△195	—	△464	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △26百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △464百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△8.70	—
2020年3月期第2四半期	△159.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,274	413	18.2
2020年3月期	2,336	439	18.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 413百万円 2020年3月期 439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	△10.9	30	—	40	—	20	—	6.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	2,943,153株	2020年3月期	2,943,153株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	64,500株	2020年3月期	64,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	2,878,653株	2020年3月期2Q	2,905,348株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により緊急事態宣言が発出され、多くの企業が事業活動を制限され、国内外の需要は大幅に悪化しました。経済活動の段階的な再開に伴い、徐々に足元の景気は持ち直しの動きがみられるものの、感染拡大の第2波への警戒感は根強く、極めて不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループはテクノロジーを基盤として、バーチャレクス・コンサルティングはCRMをビジネスのドメインに、タイムインターメディアはWeb、文教・教育、AIなどをビジネスのフィールドとして、当社グループの持つコンサルティング、IT、アウトソーシングのノウハウを活用したトータルな支援を行ってきました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,584,681千円（前年同四半期11.0%減）、営業損失26,267千円（前年同四半期は営業損失198,876千円）、経常損失14,439千円（前年同四半期は経常損失195,690千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失25,041千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失464,691千円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

IT&コンサルティング事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により営業活動が制限され、売上は前年同期比で減少したものの、前連結累計期間に発生した株式会社タイムインターメディアの大型システム開発案件における品質トラブルは当四半期に引きずることなく、利益面では前年同期比で大幅に改善しました。その結果売上高は1,298,011千円（前年同四半期14.6%減）、セグメント利益は154,624千円（前年同四半期275.7%増）となりました。

アウトソーシング事業は、前期末で予定していた一部の案件が終了したことや新型コロナウイルス感染症の影響により一部の案件について縮小がありました。その結果、売上高は1,286,669千円（前年同四半期7.0%減）、セグメント利益は190,151千円（前年同四半期12.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より62,390千円減少し、2,274,264千円となりました。これは主に、前連結会計年度末より、現金及び預金が161,259千円、受取手形及び売掛金が204,860千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末より35,903千円減少し、1,861,176千円となりました。これは主に、長期、短期含む借入金が25,467千円増加したものの、買掛金が39,970千円、未払金が31,617千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失25,041千円を計上したこと等により、前連結会計年度末より26,487千円減少し413,087千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末と比べ161,259千円増加し、四半期末残高は369,999千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得た資金は、222,766千円（前年同期は162,156千円の支出）であります。これは主に、売上債権の減少204,860千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、85,386千円（前年同期は128,654千円の支出）であります。これは主に、無形固定資産の取得による支出58,585千円、投資有価証券の取得による支出32,763千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得た資金は、23,879千円（前年同期は68,099千円の収入）であります。これは主に、短期借入金の減少額300,000千円、長期借入金の返済による支出74,533千円があったものの、長期借入れによる収入400,000円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年9月29日の「業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	208,740	369,999
受取手形及び売掛金	847,257	642,397
開発事業未収入金	153,018	72,423
仕掛品	16,785	45,390
前払費用	94,472	91,576
その他	56,951	53,526
流動資産合計	1,377,225	1,275,312
固定資産		
有形固定資産	104,511	95,117
無形固定資産		
ソフトウェア	101,180	117,411
ソフトウェア仮勘定	16,888	26,469
その他	3,820	3,820
無形固定資産合計	121,890	147,701
投資その他の資産		
投資有価証券	490,931	506,517
その他	242,096	249,615
投資その他の資産合計	733,028	756,132
固定資産合計	959,430	998,952
資産合計	2,336,655	2,274,264
負債の部		
流動負債		
買掛金	130,174	90,204
短期借入金	550,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	125,182	117,960
未払金	185,524	153,906
未払費用	42,017	55,122
リース債務	1,807	1,807
未払法人税等	23,129	13,415
未払消費税等	105,517	85,333
未払事業所税	6,262	3,606
前受金	43,370	89,391
預り金	46,639	47,459
賞与引当金	146,745	155,346
受注損失引当金	24,227	—
その他	82	75
流動負債合計	1,430,682	1,063,630
固定負債		
長期借入金	443,225	775,914
その他	23,173	21,632
固定負債合計	466,398	797,546
負債合計	1,897,080	1,861,176

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	598,381	598,381
資本剰余金	301,935	301,935
利益剰余金	△413,341	△438,383
自己株式	△49,478	△49,478
株主資本合計	437,497	412,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,077	632
その他の包括利益累計額合計	2,077	632
純資産合計	439,575	413,087
負債純資産合計	2,336,655	2,274,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	2,903,309	2,584,681
売上原価	2,429,578	2,067,527
売上総利益	473,730	517,153
販売費及び一般管理費	672,606	543,421
営業損失(△)	△198,876	△26,267
営業外収益		
受取利息及び配当金	79	72
助成金収入	4,816	5,385
投資事業組合運用益	3,616	5,829
役員報酬返納額	—	4,445
その他	554	1,106
営業外収益合計	9,066	16,839
営業外費用		
支払利息	3,212	3,364
支払手数料	1,442	1,442
為替差損	223	205
投資事業組合運用損	1,002	—
営業外費用合計	5,880	5,011
経常損失(△)	△195,690	△14,439
特別損失		
減損損失	225,019	—
特別損失合計	225,019	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△420,709	△14,439
法人税、住民税及び事業税	3,202	10,606
法人税等調整額	40,779	△4
法人税等合計	43,981	10,601
四半期純損失(△)	△464,691	△25,041
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△464,691	△25,041

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△464,691	△25,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	147	△1,445
その他の包括利益合計	147	△1,445
四半期包括利益	△464,543	△26,487
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△464,543	△26,487
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△420,709	△14,439
減価償却費	68,817	45,658
減損損失	225,019	—
資産除去費用	1,131	511
のれん償却額	14,417	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,557	8,601
受注損失引当金の増減額(△は減少)	62,244	△24,227
受取利息及び受取配当金	△79	△72
支払利息	3,212	3,364
支払手数料	1,442	1,442
為替差損益(△は益)	223	205
投資事業組合運用損益(△は益)	△2,613	△5,829
売上債権の増減額(△は増加)	188,322	204,860
開発事業未収入金の増減額(△は増加)	△80,233	80,595
たな卸資産の増減額(△は増加)	36,064	△28,605
前払費用の増減額(△は増加)	△46,605	2,895
仕入債務の増減額(△は減少)	△97,743	△39,970
未払費用の増減額(△は減少)	△5,730	10,417
未払消費税等の増減額(△は減少)	△44,585	△20,183
前受金の増減額(△は減少)	61,667	46,020
預り金の増減額(△は減少)	△17,603	820
その他	△53,268	△45,274
小計	△117,169	226,790
利息及び配当金の受取額	12	0
利息の支払額	△3,245	△3,332
手数料の支払額	△1,442	△1,442
法人税等の支払額	△45,207	△21,055
法人税等の還付額	4,893	21,805
営業活動によるキャッシュ・フロー	△162,156	222,766
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,778	△3,854
無形固定資産の取得による支出	△38,765	△58,585
投資有価証券の取得による支出	△58,986	△32,763
投資有価証券の償還による収入	—	20,924
貸付けによる支出	—	△1,384
敷金及び保証金の差入による支出	△28,974	△9,842
敷金及び保証金の回収による収入	—	270
保険積立金の積立による支出	△149	△149
投資活動によるキャッシュ・フロー	△128,654	△85,386
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	182,000	△300,000
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△83,867	△74,533
割賦債務の返済による支出	—	△683
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△903	△903
株式の発行による収入	572	—
自己株式の取得による支出	△29,702	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	68,099	23,879
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△222,712	161,259
現金及び現金同等物の期首残高	315,249	208,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	92,536	369,999

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,519,585	1,383,724	2,903,309	2,903,309
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,519,585	1,383,724	2,903,309	2,903,309
セグメント利益	41,154	216,862	258,017	258,017

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	258,017
全社費用(注)	△456,893
四半期連結損益計算書の営業損失	△198,876

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「IT&コンサルティング事業」セグメントにおいて、株式会社タイムインターメディアののれんの減損損失等の発生により、当第2四半期連結累計期間において減損損失225百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「IT&コンサルティング事業」セグメントにおいて、株式会社タイムインターメディアの株式について株式価値の回復可能性を検討してきましたが、回復に相当の期間を要すると判断したため、同社株式取得時に計上したのれんの未償却残高の全額211百万円を、当第2四半期連結累計期間において減損処理を行いました。

なお、上記(固定資産に係る重要な減損損失)の中に当該のれんの減損損失も含めて記載しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,298,011	1,286,669	2,584,681	2,584,681
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,298,011	1,286,669	2,584,681	2,584,681
セグメント利益	154,624	190,151	344,776	344,776

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	344,776
全社費用(注)	△371,043
四半期連結損益計算書の営業損失	△26,267

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。